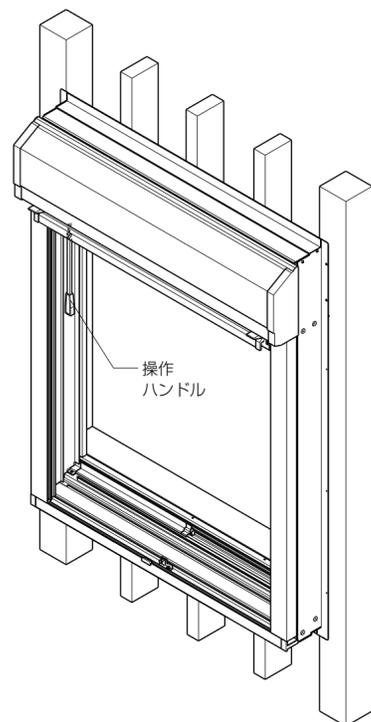


**6 操作ハンドルの取付け**

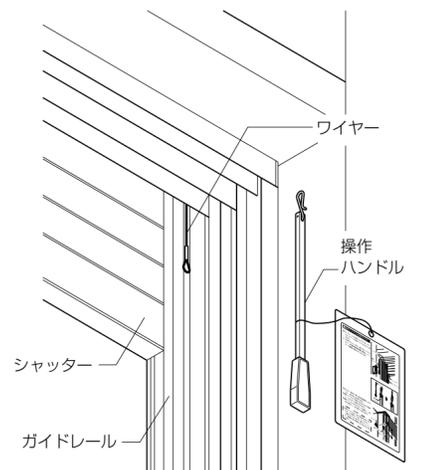
※停電時開閉機構付の場合

**6 操作ハンドルの取付け**

※操作ハンドルは停電時開閉機構付の場合のみ、取付けとなります。

①ガイドレール上部からぶら下がっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けます。

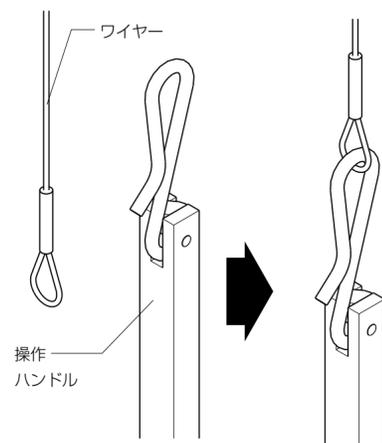
※このときワイヤーを引っ張らないでください。停電時開閉機構が動き、シャッターが電動で動かなくなります。



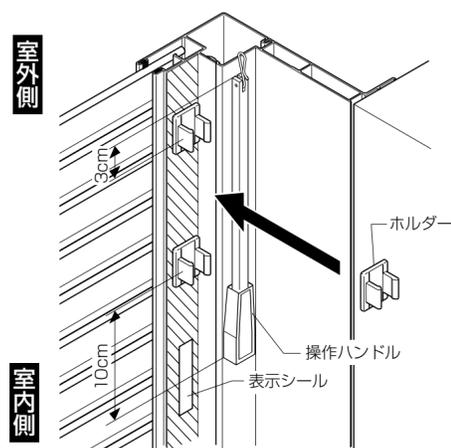
②ホルダー張付け面(下図斜線部)のホコリ・油分をふき取ります。

③操作ハンドル上端から3cmおよび下端から10cmの位置に、ホルダーを張付けます。

④操作ハンドルをホルダーに固定し、同封の表示シールを真下に張ります。

**お願い**

※操作ハンドルは、必ず下図の向きでホルダーに固定しておいてください。(操作ハンドルが引っ掛かり、シャッター開閉不良の原因となるおそれがあります。)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。**■取付けされる方へのお願い**

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

●漏電、感電や火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。

- ・電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。
- ・AC100V配線はVVF1.6mm以上をご使用ください。
- ・電源線は折曲げたり、挟んだり、キズ付けたりしないでください。
- ・動作確認終了後、電源線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。

●動作確認をする際は、シャッターの下に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

※シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。

- ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
- ・取付けは必ず柱などの躯体に取付けてください。
- ・本製品は必ず指定のねじで取付けてください。
- ・本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。

●取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

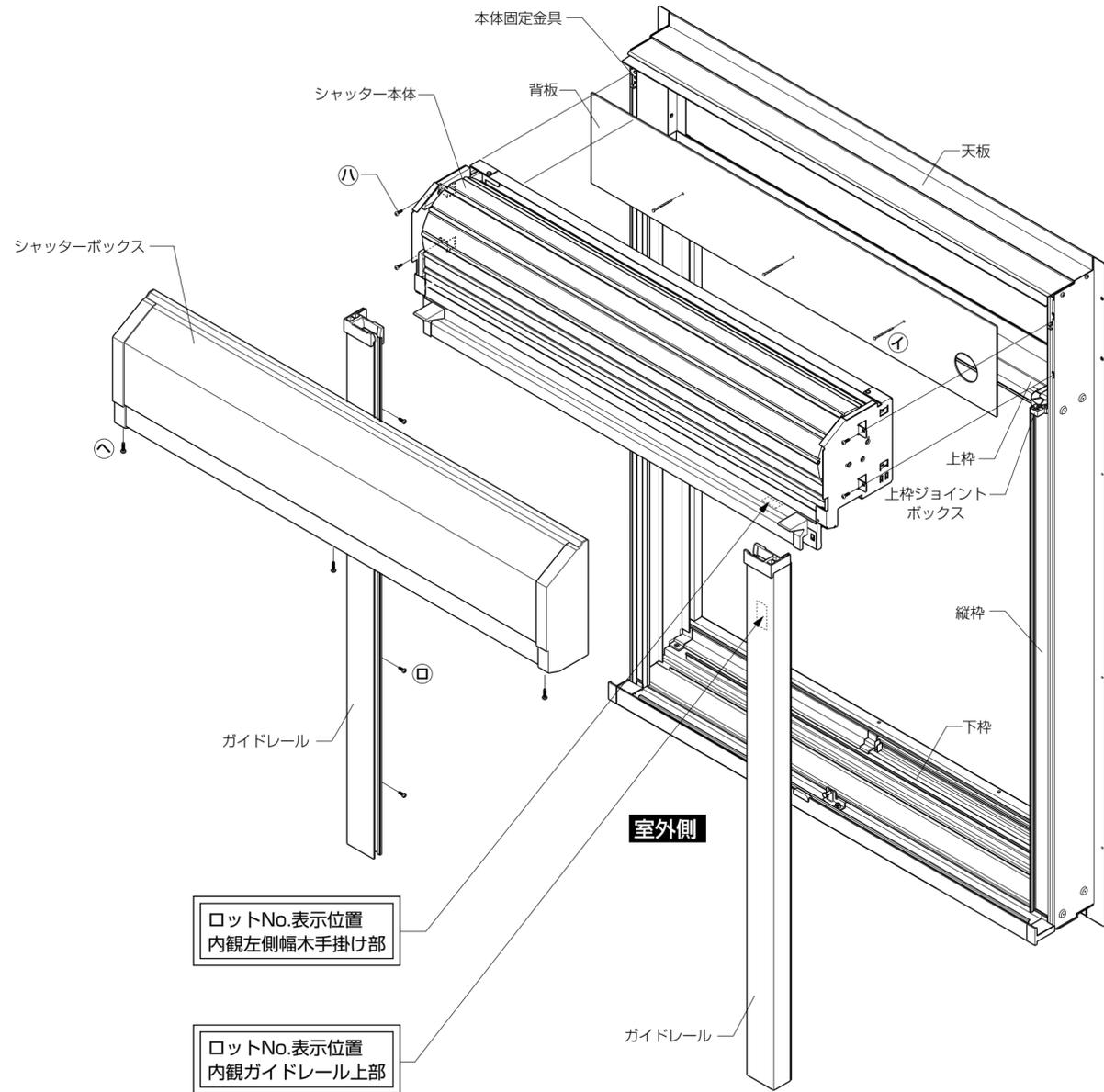
※漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・シャッター本体を取付ける前に、枠のまわりに防水テープが張ってあることを確認してください。
- ・背板取付け時、背板の四周に防水テープを張ってさらに圧着してください。

**■取付け上のおお願い**

- 本製品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
  - 電気配線工事は屋内配線との接続になるので、内装工事前に配線工事をご依頼ください。
- ※シャッターの電源線は外観右下になりますので、電気配線工事を依頼される際はご注意ください。
- シャッター本体取付けの際、動作確認のために、AC100V(許容電圧範囲90V~110V)を使用します。事前に、電気工事士さまなどと打合わせの上、電源を用意してください。
  - シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠の上下のソリが無いことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因となりますので、かい物などで調整してください。
  - 本体取付けフィンの固定の際、天板のへこみが無いように水糸などで確認して行ってください。シャッター作動不良の原因となります。
  - 本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス(点検口)およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
  - 壁仕上げの際、ボックス(点検口)・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
  - モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないようにしてください。
  - モルタルはくり材はアルミ表面を傷めますので使用しないようにしてください。
  - 枠部分の組立て・取付けには「サッシ枠/組立て説明書」、「サッシ枠/取付け説明書」をご覧ください。
  - 一次側AC100Vと、電源線の接続に必要なジョイントボックスなどの電設資材は、別途市販品をご使用ください。

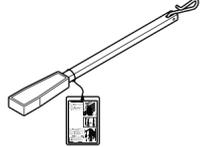
■構成図



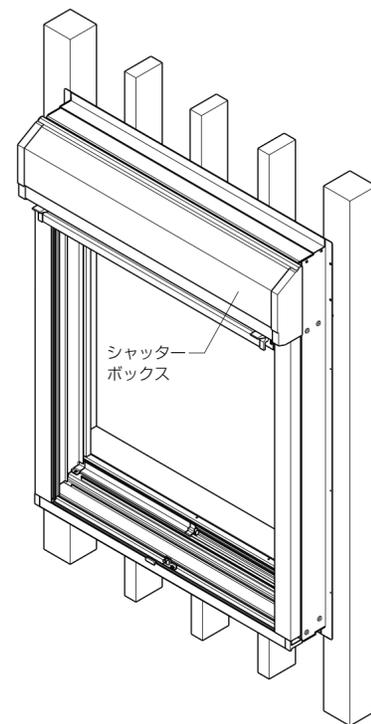
■取付け部品・ねじ一覧表

本体取付け用				ボックス取付け用	
①	㊦	㊨	㊩	㊰	㊱
					
スクリュー釘 φ2.1×32	トラスタッピンねじ φ4×8 (D9.4)	バインド小ねじ M4×12 (D8.3)	防水テープ	背板位置決め部品	バインド小ねじ 先付けM4×10

同梱部品

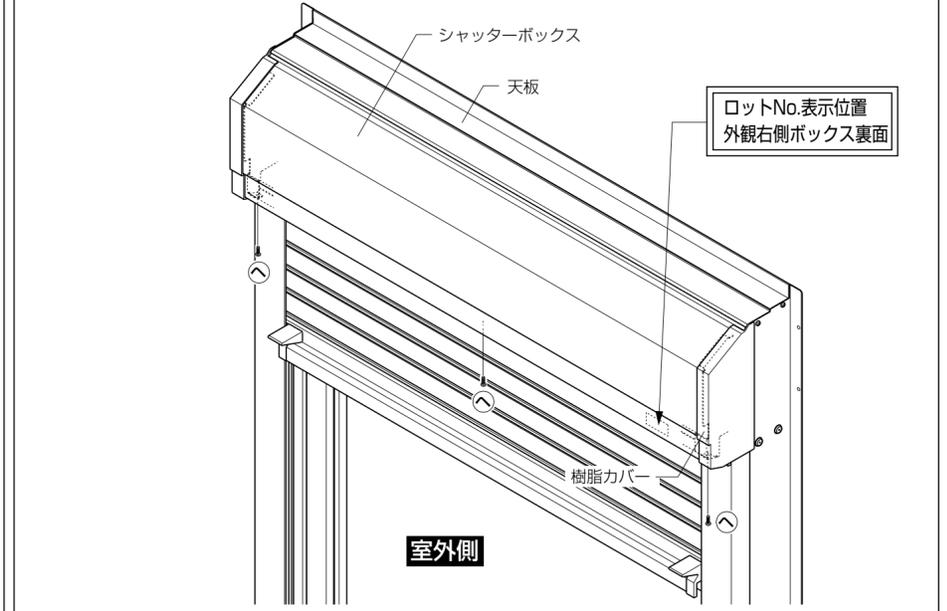
操作棒	操作ハンドル (停電時開閉機構付の場合)		
操作棒	操作ハンドル	操作ハンドルホルダー	表示シール
			

5 シャッターボックスの取付け

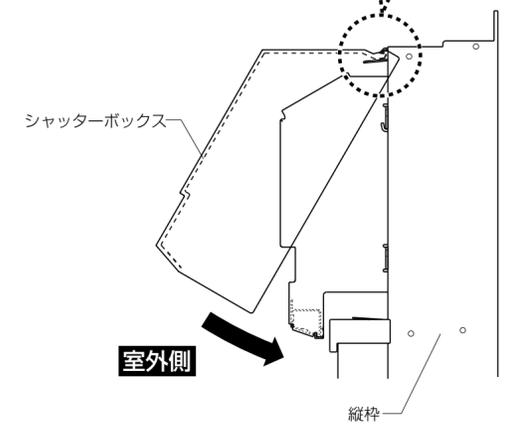
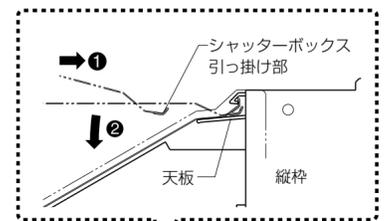


5 シャッターボックスの取付け

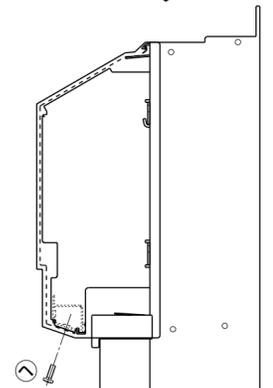
【シャッターボックスS型】



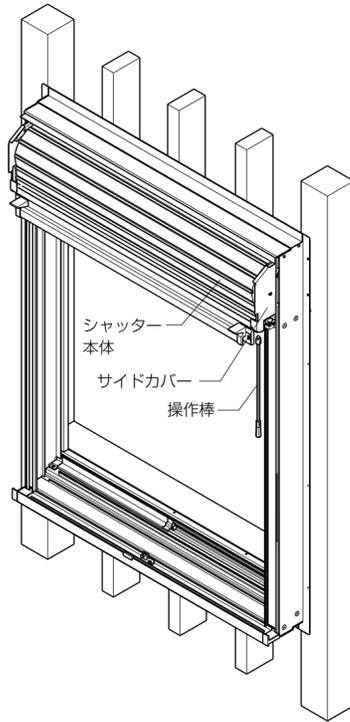
① シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。  
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。



② シャッターボックスの下側から本体へねじ止めます。  
※すべての穴に対してねじ止めてください。

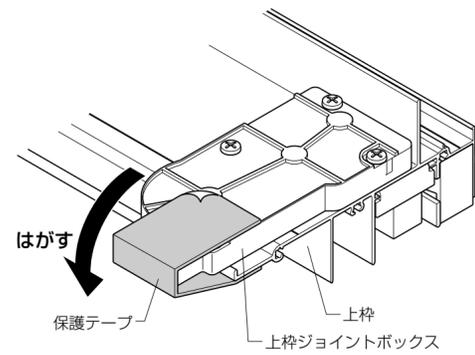


## 2 シャッター本体の取付け



## 2 シャッター本体の取付け

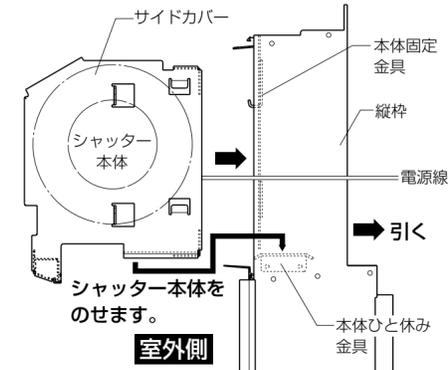
①上枠の上枠ジョイントボックスの保護テープをはがします。



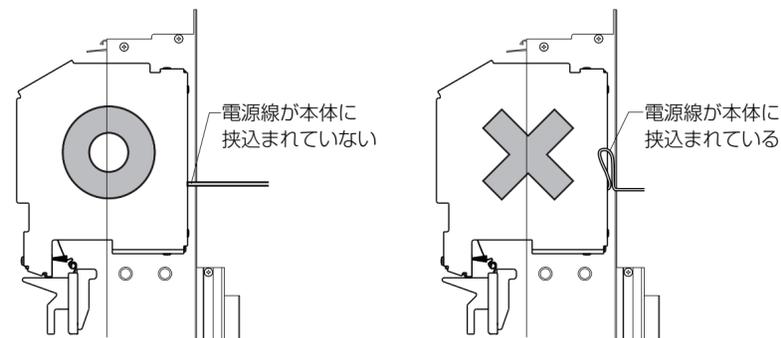
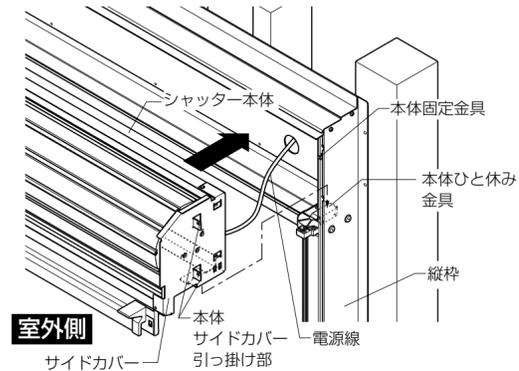
②電源線を配線穴から室内側へ通し、軽く引きながらシャッター本体を縦枠のひと休み金具の上ののせます。

**▲ 注意**

- 本体取付けの際は、手袋をしてください。
- 本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。

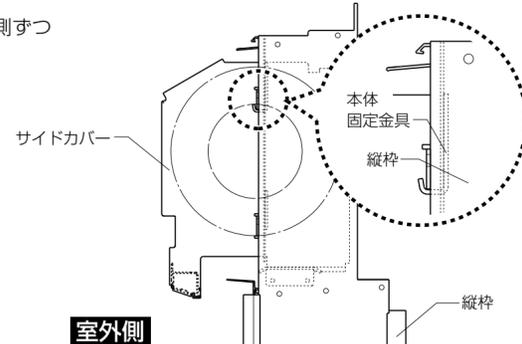


③電源線を軽く引きながら本体サイドカバーの引っ掛け部が本体固定金具に当たるまで押込んでください。

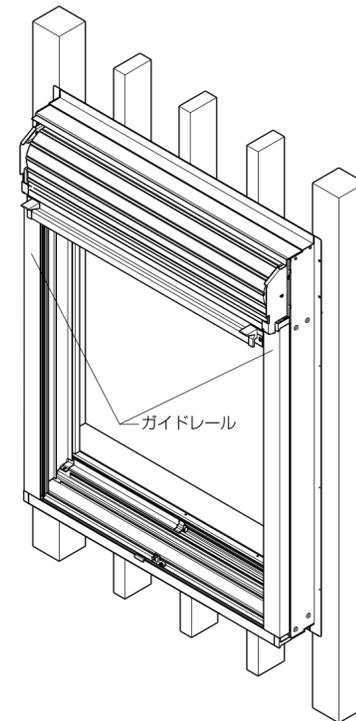


※電源線を本体と背板の間に挟まないようにしてください。

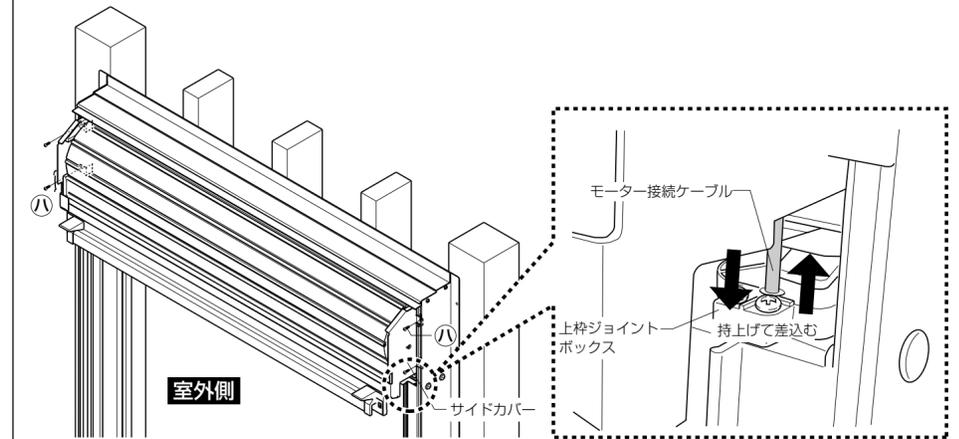
④本体サイドカバーの引っ掛け部を片側ずつ本体固定金具にかけてください。



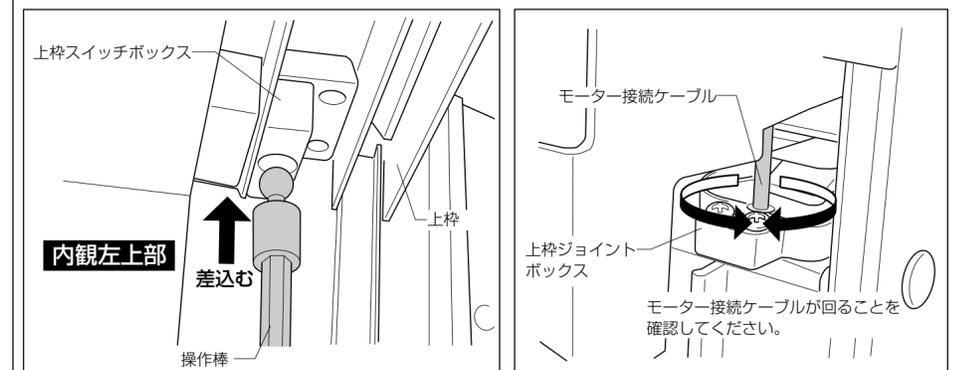
## 3 ガイドレールの取付け



⑤本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、バインド小ねじでねじ止めます。  
⑥本体より出ているモーター接続ケーブルをつまんで持ち上げ、上枠ジョイントボックスの接続部に差込みます。

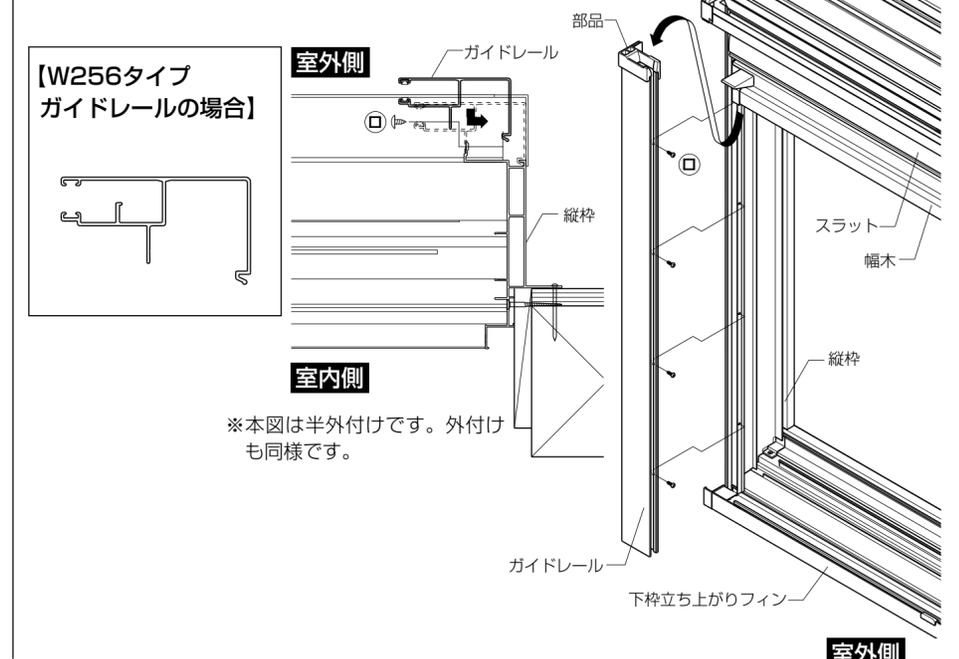


⑦上枠スイッチボックスに操作棒を取付けます。  
※操作棒を取付け後、操作棒を回してモーター接続ケーブルが回ることを確認してください。



## 3 ガイドレールの取付け

①ガイドレールの上端(部品側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠立ち上がりフィンをこえるように内側へ入れます。  
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠にはめ込み、タッピンねじで固定します。  
※ガイドレールには普通のガイドレールとW256タイプのガイドレールの2種類があります。W256タイプの本体(スラット両端に金具が付いています。)にはW256タイプのガイドレール(注意ラベルが張ってあります。)を取付けてください。



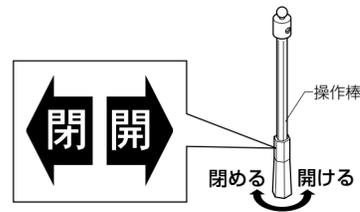
※本図は半外付けです。外付けも同様です。

4 動作確認

4 動作確認

※シャッターの操作方法

●操作棒に表示してある矢印の向きに回転させることでシャッターの開閉を行います。



■シャッターを途中停止させる場合  
(開動作中の場合)

●ラベルの閉矢印の向きにシャッターが停止するまで、操作棒を回します。回し過ぎると、シャッターが閉り始めますので、ご注意ください。

(閉動作中の場合)

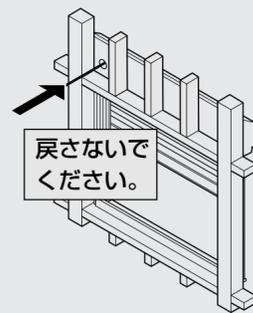
●ラベルの開矢印の向きにシャッターが停止するまで、操作棒を回します。回し過ぎると、シャッターが開き始めますので、ご注意ください。

①電源線を仮結線状態にします。

※仮設電源を使用する場合は、電圧が定格電圧内(90V~110V)にあることを確認してください。

▲注意

- シャッターが動き始めることがありますので、シャッターの下に顔や手を出さないでください。
- 電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。電源線の接続は感電する危険がありますので、電気が通っていないことを確認してから行ってください。
- 動作確認終了後、電源線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。



②操作棒を回転させ、シャッターを開閉させます。引っ掛かりなどの支障がないよう、スラットの横ズレの確認を行ってください。

※スラットの横ズレの確認

①開口の1/3程度までスラットを下げます。

※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

▲注意

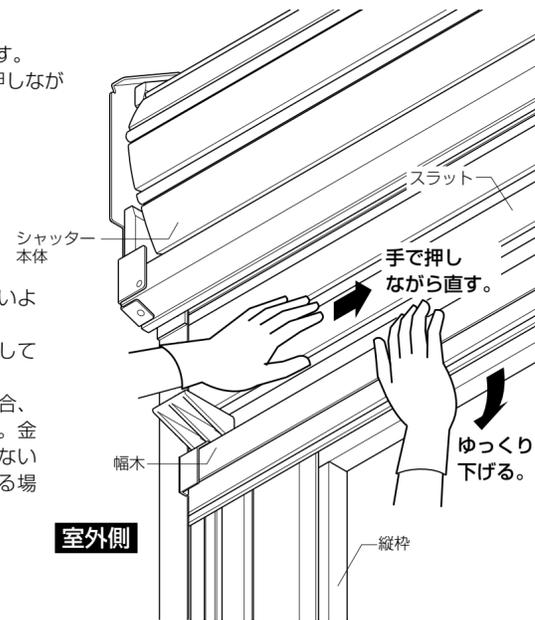
- スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

※縦枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。

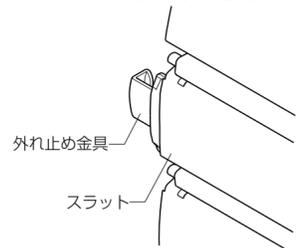
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。

※W256タイプガイドレール用本体の場合、スラットの両端に金具がついています。金具取付け部分のスラットが曲がっていないことを確認してください。曲がりがある場合は、手直ししてください。

②スラットをゆっくり上げます。

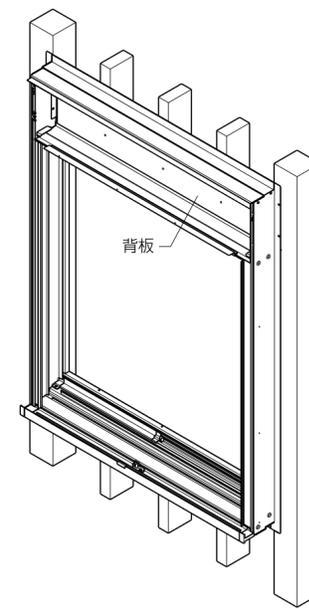


【W256タイプ  
ガイドレール使用時の場合】



■取付け順序

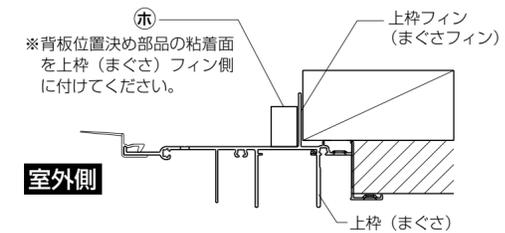
1 背板の取付け



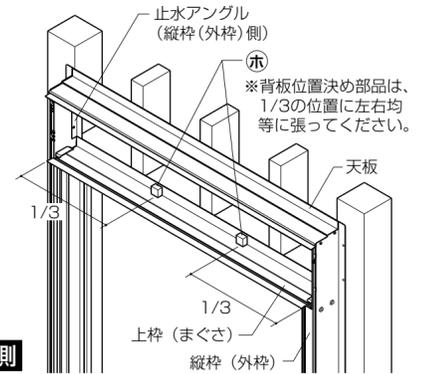
■取付け詳細

1 背板の取付け

①上枠(まぐさ)の上に背板位置決め部品を取付けてください。

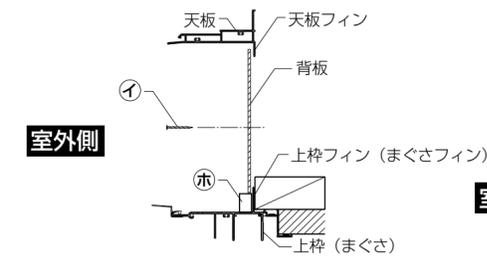


室外側

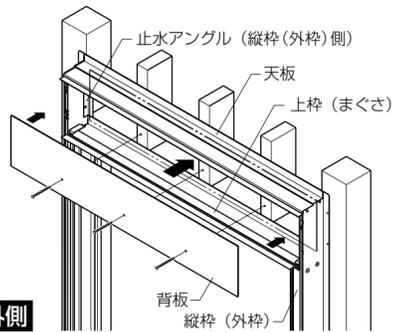


室外側

②背板位置決め部品の上に背板をのせ、天板・上枠(まぐさ)のフィン、縦枠(外枠)の止水アングルに重ね左右のチリを合わせて、間柱にスクリーュー釘で取付けてください。



室外側



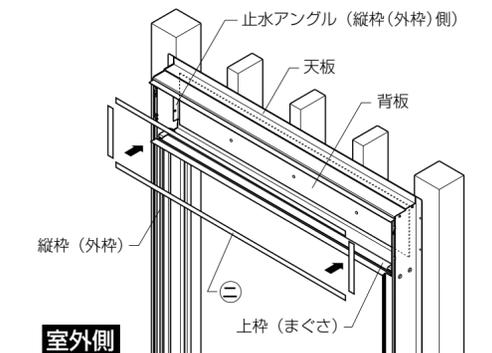
室外側

③背板位置決め部品を外してください。

④上枠(まぐさ)のフィン、縦枠(外枠)の止水アングル、天板のフィンに防水テープを張付けてください。

⑤テープを圧着します。

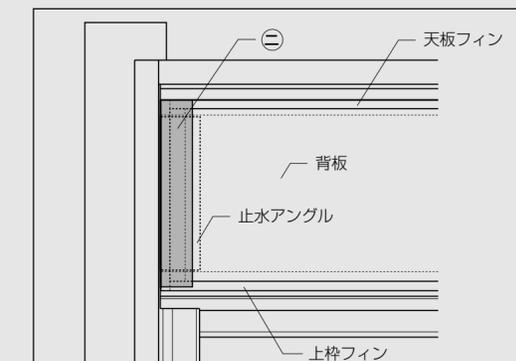
⑥張付け後、背板・防水テープに浮きがないか確認してください。



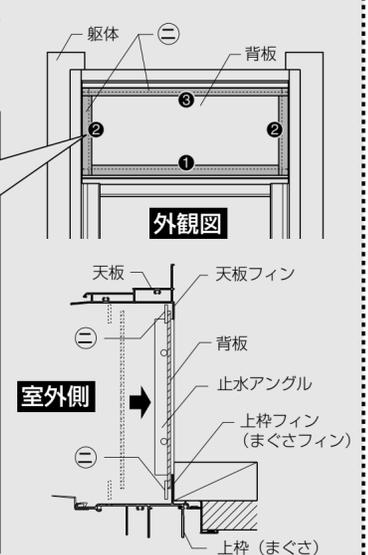
室外側

▲注意

- 防水テープは、下記順序で背板の四周に必ず圧着してください。①上枠(まぐさ)→②縦枠(外枠)の止水アングル→③天板



※縦枠(外枠)の端に沿って止水アングル全体が隠れるようにすき間なく張ってください。



室外側